

第20回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成20年2月

応募者名:東京都 建設局 第五建設事務所

事業の名称:東京都市計画道路幹線街路
放射第34号線支線1整備事業

実施都市名:東京都

事業の目的

東京都は、平成元年から「臨海副都心開発事業」「豊洲・晴海地区開発整備」を策定し、広域的な臨海部の道路及び地域開発整備を進めている。東京都市計画道路幹線街路放射第34号線支線1整備事業の約2.8kmは、都心部と豊洲・晴海地域及び臨海副都心を結ぶ重要な幹線道路で、上空には首都高速晴海線も整備される多重構造の道路です。整備区間には、東雲運河と晴海運河・首都高速湾岸線を渡る橋梁を整備することで、周辺地域の交通分散が図られ、交通渋滞が緩和されることにより、地域開発の促進に寄与する事業です。

事業概要

事業名：東京都市計画道路幹線街路
放射第34号線支線1整備事業
路線名：放射第34号線支線1
事業箇所：江東区豊洲六丁目～江東区有明一丁目
事業延長：265m
幅員：35.8m～50m(6車線)
総事業費：約62億円
事業期間：平成14年～平成18年

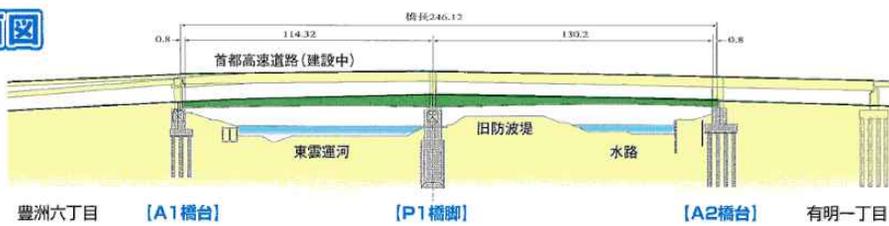
本事業は、東雲運河を渡河するため、橋長246m上下線2つの橋梁を、2径間連続鋼床板箱桁で整備したものです。下部工は、上空の首都高速晴海線と一体構造として整備することで、景観等への配慮や工費軽減に努めた。鋼桁架設は、東雲運河の利用者が多いため、大ブロック台船一括架設を採用した。橋梁上部は、開かれた歩道空間を確保し、材料も旧貯木場の名残がある木材使用で周辺景観に考慮したものとしました。

事業位置図

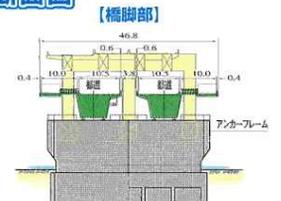


全体図(平面図・側面図・横断面図)

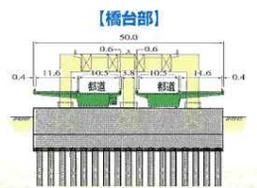
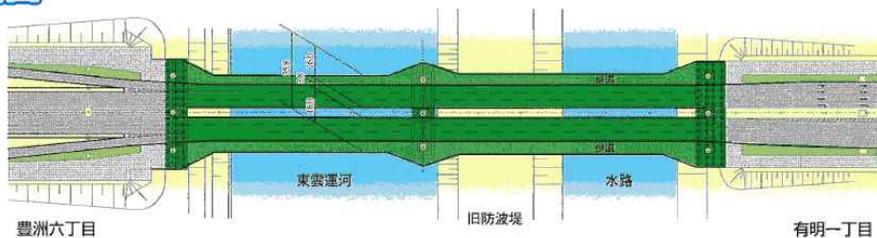
側面図



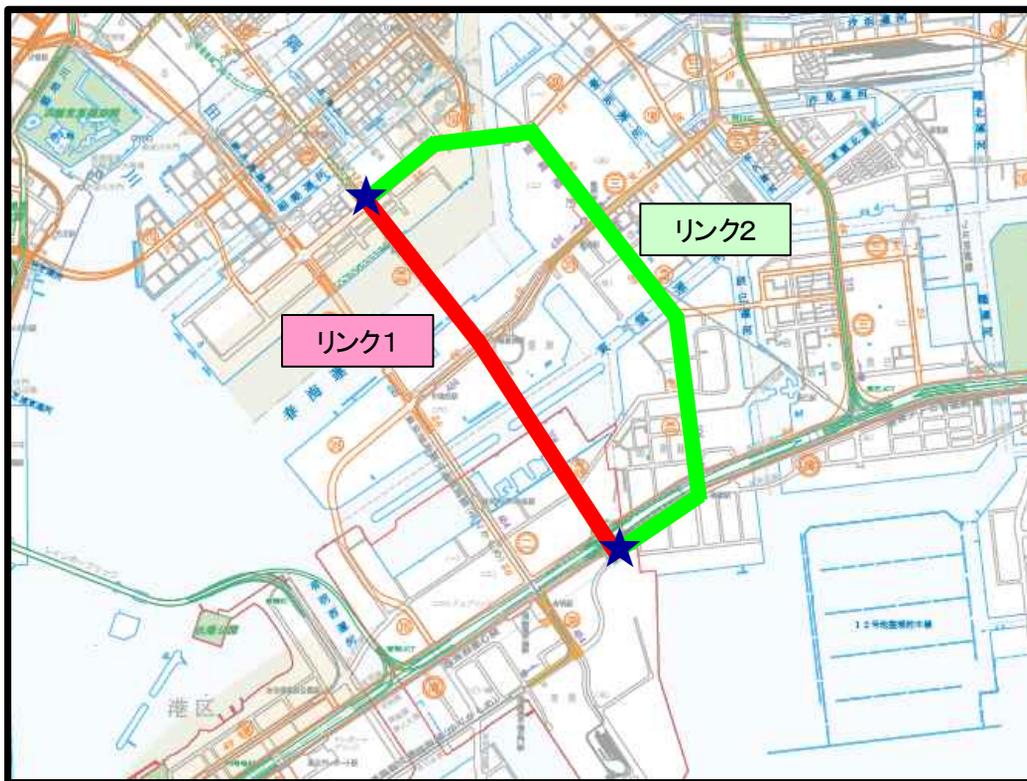
断面図



平面図



放射第34号線支線1の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 東京都市計画道路幹線街路
放射第34号線支線1整備事業
路線名: 放射第34号線支線1
事業箇所: 江東区豊洲六二丁目
～江東区有明一丁目
事業延長: 265m(橋長246m)
幅員: 35.8m～50m(6車線)
総事業費: 約62億円
事業期間: H14～H18年度

○交通量調査結果

供用前 平成17年10月26日
供用後 平成19年 2月14日

リンク1)
交通量 0台 → **8,082台**
旅行時間 0分 → **6分37秒**

リンク2)
交通量 **27,799台** → **11,138台**
旅行時間 **17分50秒** → **12分50秒**

「整備効果」

- 晴海通りの交通量60%減少
(渋滞ピーク時も57%減少)
- 旅行時間の向上
晴海通り 17分50秒 ⇒ 12分50秒
(12%減少)
- 放射34号線支線1 6分37秒
- 臨海副都心へのアクセス向上
一般道路 5路線 ⇒ 6路線



事業前: H15.7



事業後: H18.11

事業前写真

平成15年7月撮影



平成15年7月撮影

平成15年7月撮影



旧防波堤よりA1橋台を望む



豊洲側上空より橋梁全体を望む

事業後写真

平成18年11月撮影



平成18年11月撮影

平成18年11月撮影



A1橋台より旧防波堤を望む



A2橋台より旧防波堤を望む